

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 11-352919  
 (43) Date of publication of application : 24.12.1999

(51) Int.Cl.

G09G 3/20  
G09F 9/40

(21) Application number : 10-156242  
 (22) Date of filing : 04.06.1998

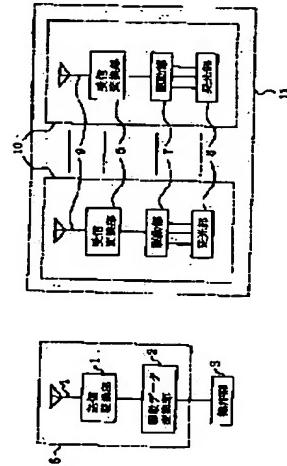
(71) Applicant : MITSUBISHI ELECTRIC CORP  
 (72) Inventor : ABE ICHIHIRO  
 ITO HIROSHI

## (54) DISPLAY DEVICE

## (57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a display device capable of being made thinner, lighter in weight, larger, and finer.

**SOLUTION:** This display device is provided with a display part 11 for performing a display for one screen by combining display segments 10 each consisting of at least one light emitting element, and a transmission part 5 for transmitting a display data to this display part. The segment 10 has a receiving and converting part 6 for receiving the display data transmitted from the transmitting part 5 and converting the received display data into a drive data for display element, and a drive part 7 for controlling a light emitting part 8 on the basis of the drive data converted by the receiving and converting part 6.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 22.12.2000  
 [Date of sending the examiner's decision of rejection]  
 [Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]  
 [Date of final disposal for application]  
 [Patent number] 3450186  
 [Date of registration] 11.07.2003  
 [Number of appeal against examiner's decision of rejection]  
 [Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]  
 [Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-352919

(43)公開日 平成11年(1999)12月24日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

G 0 9 G 3/20  
G 0 9 F 9/40

識別記号

6 3 3  
3 0 1

F I

G 0 9 G 3/20  
G 0 9 F 9/40

6 3 3 K  
3 0 1

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 17 頁)

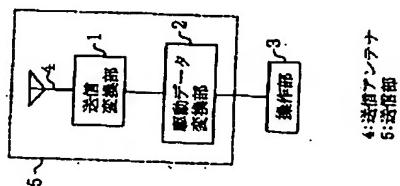
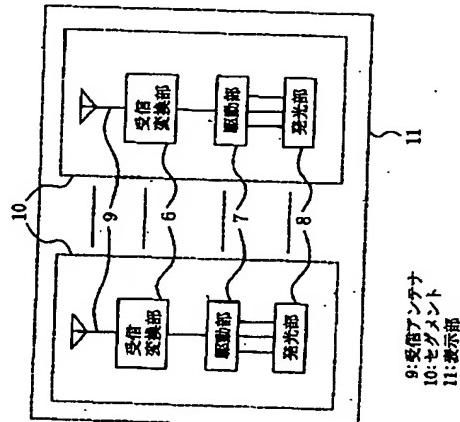
|          |                 |         |  |
|----------|-----------------|---------|--|
| (21)出願番号 | 特願平10-156242    | (71)出願人 | 000006013<br>三菱電機株式会社<br>東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 |
| (22)出願日  | 平成10年(1998)6月4日 | (72)発明者 | 阿部 委千弘<br>東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三菱電機株式会社内      |
|          |                 | (72)発明者 | 伊藤 廣<br>東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三菱電機株式会社内        |
|          |                 | (74)代理人 | 弁理士 曾我 道照 (外6名)                            |
|          |                 |         |  |

(54)【発明の名称】 表示装置

(57)【要約】

【課題】 薄型、軽量化、大型化、高精細化が可能な表示装置を得る。

【解決手段】 少なくとも1個の発光素子で構成された表示セグメント10を組合せて一画面分の表示を行う表示部11と、この表示部へ表示データを送信する送信部5とを備え、表示セグメントが、送信部より送信された表示データを受信し、該受信された表示データを表示素子の駆動データに変換する受信変換部6と、この受信変換部で変換された駆動データを基に発光部8を制御する駆動部7とを有する。



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 少なくとも1個の発光素子で構成された表示セグメントを組合わせて一画面分の表示を行う表示部と、

該表示部へ表示データを送信する送信部と  
を備え、上記表示セグメントを個別に受信・発光させる  
ようにしたことを特徴とする表示装置。

【請求項2】 上記表示セグメントは、上記送信部より  
送信された表示データを受信し、該受信された表示データ  
を表示素子の駆動データに変換する受信変換部と、該  
受信変換部で変換された駆動データを基に発光部を制御  
する駆動部とを有することを特徴とする請求項1記載の  
表示装置。

【請求項3】 上記送信部で周波数の異なる表示データ  
を送信し、上記表示部に表示セグメント毎に異なる周波  
数帯しか受信できない手段を設けたことを特徴とする請  
求項1または2記載の表示装置。

【請求項4】 上記表示セグメント間に受信開始・終了  
の信号をやり取りできるデータ線を配線したことを特徴  
とする請求項1～3のいずれかに記載の表示装置。

【請求項5】 上記送信部は、表示セグメント分の表示  
データを送信する前に、表示させたい表示セグメントを  
指定するための信号を送信することを特徴とする請求項  
1～4のいずれかに記載の表示装置。

【請求項6】 上記送信部を少なくとも1個備えている  
ことを特徴とする請求項1～5のいずれかに記載の表示  
装置。

【請求項7】 上記表示部の各表示セグメントに含まれる  
複数の受信手段を单一にまとめたことを特徴とする請  
求項1～6のいずれかに記載の表示装置。

【請求項8】 上記表示セグメント間の接続に変形可能  
な素材を使用することを特徴とする請求項1～7のい  
ずれかに記載の表示装置。

【請求項9】 上記表示セグメントの接続用基板または  
フィルムの片面にのみに、該表示セグメントを配置した  
ことを特徴とする請求項1～8のいずれかに記載の表示  
装置。

【請求項10】 上記表示セグメントの発光部と同じ面  
に上記受信変換部と上記駆動部を設けたことを特徴とす  
る請求項2～9のいずれかに記載の表示装置。

**【発明の詳細な説明】**

**【0001】**

【発明の属する技術分野】この発明は、遠隔操作が可能  
な表示装置に関し、特に高精細の大画面等を得たい場合  
に用いて好適な表示装置に関するものである。

**【0002】**

【従来の技術】この種従来の表示装置として、例えば図  
30に示すような個別駆動型の表示装置と、図31に示  
すようなマトリクス駆動型の表示装置がある。即ち、発  
光ダイオード（以下、LEDという）等の自己発光型の

素子を用いた表示装置において、発光素子を駆動させる  
ためには図30に示すように発光素子18を個別に駆動  
させるか、図31に示すように1ライン毎に発光するマ  
トリクス駆動させる等の方法が一般的である。これらの  
表示装置を大画面化する場合、図31のようなマトリク  
ス駆動する装置は、そのまま大画面化が可能であるが、  
図30のような個別駆動方式では、回路基板を複数個組  
合せ、図32に示すように発光素子18が実装されて  
いる裏側に、発光素子18の個別駆動用配線31を多  
数出すことで大画面化を行うようしている。

**【0003】**

【発明が解決しようとする課題】従来の表示装置は以上  
のように構成されているので、図31のようなマトリク  
ス駆動方式では、1ライン毎に表示させなければなら  
ず、大画面化によるライン数の増加に対しては、どうし  
ても1ライン分の表示時間が短くなり画面が暗くなったり、  
画面のちらつきが問題となる。また、図30のよう  
な個別駆動方式では、表示基板13のパターンが複雑  
で、図32のように表示画面の裏面の配線が煩雑にな  
り、また、表示基板13のパターンも複雑であり、それ  
が表示装置の大型化、高精細化、軽量化、薄型化を阻む  
ものであった。

【0004】この発明は上記のような問題点を解消する  
ためになされたもので、表示部のパターン配線を簡略化  
して、薄型、軽量化、大型化、高精細化を可能にした表  
示装置を得ることを目的としている。

**【0005】**

【課題を解決するための手段】請求項1の発明に係る表  
示装置は、少なくとも1個の発光素子で構成された表示  
セグメントを組合わせて一画面分の表示を行う表示部  
と、該表示部へ表示データを送信する送信部とを備え、  
上記表示セグメントを個別に受信・発光させるようにし  
たものである。

【0006】請求項2の発明に係る表示装置は、請求項  
1の発明において、上記表示セグメントが、上記送信部  
より送信された表示データを受信し、該受信された表示  
データを表示素子の駆動データに変換する受信変換部  
と、該受信変換部で変換された駆動データを基に発光部  
を制御する駆動部とを有するものである。

【0007】請求項3の発明に係る表示装置は、請求項  
1または2の発明において、上記送信部で周波数の異  
なる表示データを送信し、上記表示部に表示セグメント毎  
に異なる周波数帯しか受信できない手段を設けたもの  
である。

【0008】請求項4の発明に係る表示装置は、請求項  
1～3のいずれかの発明において、上記表示セグメント  
間に受信開始・終了の信号をやり取りできるデータ線を  
配線したものである。

【0009】請求項5の発明に係る表示装置は、請求項  
1～4のいずれかの発明において、上記送信部が、表示

セグメント分の表示データを送信する前に、表示させたい表示セグメントを指定するための信号を送信するものである。

【0010】請求項6の発明に係る表示装置は、請求項1～5のいずれかの発明において、上記送信部を少なくとも1個備えているものである。

【0011】請求項7の発明に係る表示装置は、請求項1～6のいずれかの発明において、上記表示部の各表示セグメントに含まれる複数の受信手段を单一にまとめたものである。

【0012】請求項8の発明に係る表示装置は、請求項1～7のいずれかの発明において、上記表示セグメント間の接続に変形可能な素材を使用するものである。

【0013】請求項9の発明に係る表示装置は、請求項1～8のいずれかの発明において、上記表示セグメントの接続用基板またはフィルムの片面にのみに、該表示セグメントを配置したものである。

【0014】請求項10の発明に係る表示装置は、請求項2～9のいずれかの発明において、上記表示セグメントの発光部と同じ面に上記受信変換部と上記駆動部を設けたものである。

#### 【0015】

【発明の実施の形態】以下、この発明の各実施の形態を図を参照して説明する。

実施の形態1. 図1はこの発明の実施の形態1を示す構成図である。図において、操作部3は主にパソコン等であり、そこに送信部5が接続されており、表示部11は複数個の個別に受信・発光する表示セグメントとしてのセグメント10にて構成されている。送信部5は、送信アンテナ4を有する送信変換部1と、この送信変換部1に接続され、操作部1からの操作情報（画像データ）を受けて駆動データに変換する駆動データ変換部2とを備える。また、セグメント10は、受信アンテナ9を有し、受信信号を送信された元の駆動データに変換する受信変換部6と、この受信変換部6に接続された駆動部7と、この駆動部7からの駆動データで駆動される発光部8とを備える。

【0016】次に、動作について説明する。操作部3からは画像データが出力され、それを駆動データ変換部2にて発光部8（主にLED等の自己発光型素子）を表示するための駆動データに変換し、その駆動データを送信変換部1にて変調・增幅して、送信アンテナ4にて各セグメント10に表示データを送信する。各セグメント10の受信アンテナ9にて受信された信号は受信変換部6にて復調・增幅され送信部5の駆動データ変換部2でつられたデータに戻り、その駆動データを基に駆動部7が発光部8を点灯させる。

【0017】図2に図1の表示装置の具体的な外観図を示す。つまり、図2のセグメント10が一つのみでも受信・発光できることになる。図3にセグメント10の詳

しい構成についての一例を示す。例えば、LED18は表示基板13に実装されており、受信回路基板14へは受信アンテナ9、受信回路IC19、LED駆動用IC20、抵抗及びコンデンサなどの電子部品20aが実装されている。表示基板13と受信回路基板14を互いに貼り合わせることにより、一つのセグメント10を構成させる。これらセグメント10を多数配列し大画面化するための構成方法の一例を図4、図5に示す。

【0018】図4のように共通電極16（主に電源バーンVdd、GND等）が配線してある共通電極用基板15をセグメント10が挟み込むように実装されており、表示基板13と受信回路基板14の導通はスルーホール17を介して行われる。このような構成にて図5のようにセグメント10が多数配列可能となり、大画面化が容易に構成できるようになる。ここまで、セグメント10は主にLED等である発光素子18を3個実装された構成であるが、実用では解像度にもよるが部品代を抑えるため、図6のように多数の発光素子18を実装し、一つのセグメント10として構成することもできる。

【0019】しかし、このままでは全てのセグメントに同じデータが送信されてしまい、同じ点灯にしかならないので、表示データ送信の際に受信すべきセグメントを指定しなければならない。その解決法の一例として、図7は送信変換部1の一部であるが、図7のように送信変換部1においてセグメントの駆動データを平衡変調器22に入力し、これをセグメント毎に周波数が変化する可変局部発振器21の搬送波に乗せて出力を行う。

【0020】そして、図8は受信変換部6の一部であるが、図8のようにセグメント毎に異なる固定局部発振器23を設け、その出力を表示データを検波している検波器24に供給することにより、セグメント毎に受信できる駆動データが異なるようになる。つまり、例えば図9のように72個のセグメント10が2.01MHzから0.01MHzごとに異なる固定局部発振器23を実装されているならば、送信部5の可変局部発振器21は2.01～2.72MHzの可変範囲にて周波数を変化させることにより、各セグメント10毎に表示データを送信できる。

【0021】また、このように送信部5の周波数を可変にすることにより、セグメント10を指定するデータ転送方法では、デジタル信号も転送可能である。この場合、送信部5にて異なる周波数に変更・送信されたデジタル信号は、受信変換部6にて図10のSAWフィルタ25で指定された周波数のデジタルデータのみ駆動部7へデータを送ることとなり、各セグメント毎に異なる表示が可能となる。つまり、この場合、SAWフィルタ25は表示セグメント毎に異なる周波数帯しか受信できない手段である。なお、デジタルデータについては、電波による送受信ではなく、可視光レーザ光による送受信也可能になる。その場合の構成図を図27に示す。

【0022】以上のように、セグメント10毎に独立して受信・発光を行える表示部により、表示装置の大型化、軽量化、薄型化、高精細化が可能となった。特に大型化に対してはセグメントの数を増やすことにより容易に行えるので、カスタム対応の仕様についても、素早く対応できるようになる。発光部8や駆動部7或いは受信変換部6などの不良に対しても、セグメント10の部分のみ交換すればよいので、製品に対する歩留まりが向上でき、また、市場における故障に対してもセグメント10のみの交換で済むので、故障修理の時間が大幅に短縮される等の利点が挙げられる。

【0023】実施の形態2。上記実施の形態1ではセグメントの指定に周波数帯で区別したが、画面を表示させるととき、各セグメントは一定方向に順次データを送信するが多く、その場合、図11のようにセグメント間に順次受信OK信号の受渡しができれば順次送信機の送信に合わせてセグメントのデータ受信が行える。つまり、まず一画像分のデータを送信するとき、一番初めの第一セグメント10aから受信し始める。そして、第一セグメント10aがデータの受信を完了したら、そのことを第二セグメント10bに受信OKを信号にて伝えると第二セグメント10bは受信状態となる。この場合、各セグメント間に受信開始・終了の信号をやり取りできるデータ線が配線されている。

【0024】これらを図11のように第三セグメント10c以降も続けることにより、一画像分の表示が可能となる。ただし、この表示方法ではセグメント間のデータ線は少なくとも1本は必ず必要となる。この表示方法の送信方式としては、アナログ送信・デジタル送信のどちらも可能であるのだが、特にアナログ送信での利点としては、送信変換部と受信変換部の変調・復調に関して、FM変調・AM変調の両方が可能となることである。特にFM変調を行うことにより、セグメント10の駆動データを正確に伝えることができる。

【0025】かくして、本実施の形態では、実施の形態1と同じく表示装置の大型化、軽量化、薄型化、高精細化が可能となる。

【0026】実施の形態3。上記実施の形態1では周波数によりセグメント10を指定し、上記実施の形態2ではセグメント10間で受信状態を転送することで表示させる方法であったが、これら実施の形態1と実施の形態2の表示装置を組み合わせた考え方も可能である。図12では実施の形態2の表示部11が数個並べられた形であり、第一表示部11a、第二表示部11b、第三表示部11cにて受信する周波数帯が異なっているので、送信部5の周波数を変更することにより、セグメント10へ正確にデータを送ることができる。ただし、この方法では送信変換部と受信変換部の変調・復調に関してはFM変調が使用できなくなる。

【0027】かくして、本実施の形態では、大画面化に

際して現地で添え付け及び組立を行う場合、工場にて各表示部11a、11b、11cを個別に調整しておけば、現地での組立に際して調整が簡単に済む。

【0028】実施の形態4。上記実施の形態3とは反対に図13は実施の形態1の表示装置11が数個並べられた形であり、第一表示部11a、第二表示部11b、第三表示部11cにて受信OKのデータの受け渡しを行うことにより、各表示部11a、11b、11c自体が受信状態がそうでないか判断するものである。ただし、この場合は各表示部毎、または、セグメント毎にデータ受信OK信号にてON/OFFするスイッチング回路が必要となる。

【0029】かくして、本実施の形態では、上記実施の形態3と同じく各表示毎に調整でき、あとで組み立てられることや、また、送信機側の周波数の可変範囲が短くなり、送信機側の負担を減らせ、送信機を安くすることができます。

【0030】実施の形態5。上記実施の形態1および2以外の表示データを送信するセグメントの指定方法としては、デジタル送信を行う場合、図14のように駆動データ前にセグメント番号を送信し、そのセグメント番号の番地にあるセグメントのみ受信状態にする方法がある。図15はその構成の概略図であり、各セグメント10a、10b、10cには、セグメント番号が付けられており、送信部5は図14の表示データを送信する。つまり、送信部5は、セグメント分の表示データを送信する前に、表示させたいセグメントを指定するための信号を送信する。かくして、本実施の形態では、表示装置の大型化、軽量化、薄型化、高精細化が可能となる。

【0031】実施の形態6。上記実施の形態5のセグメント指定方法は、上記実施の形態1と組み合わせて構成できる。例えば図16では実施の形態5の表示部11が数個並べられた形であり、第一表示部11a、第二表示部11b、第三表示部11cにて受信する周波数帯が図10のSAWフィルタを変えることにより異なっているので、送信部5の周波数を変更することにより、セグメント10へ正確にデータを送ることができる。

【0032】また、これとは逆に図17のように実施の形態1の表示部11が数個並べられた形であり、各表示部11a、11b、11cには番号が付けられておりその番号をデジタル送信にて指定すると、その表示装置が受信状態となる、その後、指定し受信状態になった表示装置に対して実施の形態1の方法にて各セグメントへ表示データを送信することができる。かくして、本実施の形態では、表示装置の大型化、軽量化、薄型化、高精細化が可能となり、各表示毎に調整できるので、組立も容易となる。

【0033】実施の形態7。上記実施の形態5のセグメント指定方法は、上記実施の形態2と組み合わせても構成できる。例えば図18は実施の形態5の表示装置11

が数個並べられた形であり、第一表示部11a、第二表示部11b、第三表示部11cにて受信OKのデータの受け渡しを行うことにより、各表示部11a、11b、11c自体が受信状態がどうでないか判断するものである。

【0034】また、これとは逆に図19は実施の形態2の表示装置11が数個並べられた形であり、まず受信をする表示装置の番号をデジタル送信しその表示装置が受信状態となり、あとは各セグメント毎に実施の形態2の方法で表示データを送信する方法である。かくして、本実施の形態では、表示装置の大型化、軽量化、薄型化、高精細化が可能となり、各表示毎に調整できるので、組立も容易となる。

【0035】実施の形態8、表示装置において動画等の表示には、時間あたりの表示回数を増やすため表示時間を短く必要がある。また、大画面化にし画素数が増える場合においても、一画面分のデータ数が増えるので表示速度が遅くなってしまう。そこで、上記実施の形態1～6までにおいては送信部5が一つのみの実施の形態であったが、データの転送速度を上げるために、送信部5を複数個使用することでデータの送信速度を上げることができる。例えば図20は実施の形態3の図12における表示部を複数個の送信部にて構成した場合の構成図である。

【0036】この構成では第一送信部5aは第一表示部11a、第二送信部5bは第二表示部11b、第三送信部5cは第三表示部11cを駆動することとなる。なお、図20の場合は、送信部3個に対して表示部が3個のため、送信部は周波数を変更しなくてもよいので、固定周波数の送信部を使用できる。例えば図21は実施の形態3の図13における表示部を複数個の送信部にて構成した場合の構成図である。この構成では第一送信部5aにて各表示部11a・11b・11cの上1/3、第二送信部5bにて各表示部11a・11b・11cの中1/3、第三送信部5cにて各表示部11a・11b・11cの下1/3を駆動することとなる。

【0037】例えば、図22は実施の形態6の図16における表示部を複数個の送信部にて構成した場合の構成図である。この構成では送信部5aは表示部11a、送信部5bは表示部11b、送信部5cは表示部11cを駆動することとなる。なお、図22の場合も、送信部と表示部が同数のため、送信部は固定周波数でよい。

【0038】以上のように様々な構成が考えられるが、本実施の形態では、複数個の送信部を使用することにより、駆動データの送信時間が短くなり、動画などの表示も行えるようになり、また、場合によっては、送信部の可変範囲も短くできるため送信部の負担も少なくなる。

【0039】実施の形態9、上記実施の形態1～7において、受信手段としてのアンテナ及びレーザ受光素子が各セグメント毎に付いているが、各セグメンに付ける必

要はなく、アンテナ及びレーザ受光素子を複数個少なくとも図23のように一本にまとめることができる。その場合、図24のように共通電極用基板15にアンテナ及びレーザ受光素子の線を配線することもできる。かくして、本実施の形態では、表示部にかかるアンテナ及びレーザ受光素子の価格を安くすることができる。

【0040】実施の形態10、上記実施の形態1～8において、セグメント10と共に共通電極用基板15の配置をセグメント10の受信回路基板14と共に共通電極用基板15の間に挟むような配置であるが、図28のように表示基板13と受信回路基板14を合わせ、例えはひとつの基板である表示・受信回路基板30とし、共通電極用基板15の片側に表示・受信回路基板30を設置する。また、共通電極用基板15と表示・受信回路基板30の接続は、スペーサの役割も兼ねた接続部品31にて行う。以上のようにすることによって、共通電極用基板15のパターン配線は少なくとも電源配線(Vdd, GND)のみで構成できるようになる。

【0041】かくして、本実施の形態では、セグメントの表示・受信回路基板30が安く、薄くすることができます表示部11自体も薄くできる。また、共通電極用基板15のパターンが簡単になり、電源パターンを太くすることができ、基板の電流容量を増やすことができる。

【0042】実施の形態11、セグメント10の表示面積が大きく、発光部の間隔に隙間がある場合、図29のように受信回路IC19、LED駆動用IC20、抵抗及びコンデンサなどの電子部品20a、受信アンテナ9を発光素子18と同じ面の共通電極用基板15上に実装できる。

【0043】かくして、本実施の形態では、セグメント11が片面実装基板となり、製造しやすくなる。また、セグメント11も薄くなり表示装置も更に薄くできる。また、この方法では、図27のようにレーザ発光装置12aと受光回路12bを使用した送信の場合、受信回路12bが表示装置の表示面となるため、送信部5側から表示を確認しながらの操作が可能となる。

【0044】実施の形態12、上記実施の形態1～9において、共通電極用基板15は、プリント基板のような固い構造のものではなく、フィルム等の屈曲が可能な材質のものを使用してもよい。そうすることにより、図25の各セグメント10間の隙間に共通電極用フィルム26が形状可動となる。図26は共通電極用フィルム26を用いたときの、表示装置の使用方法一例である。表示部11は吊り組28にて壁などにある留め金29に吊されており、表示装置11の下部にある筒みたいなものは、電源やスピーカ等が入った電源ボックス27である。共通電極用フィルム26は形状可動のため、この電源ボックス27を中心に表示部11を丸め込むことができる。表示装置が図26のような形状になることにより、大型表示装置の搬送、搬出が容易となり、持ち運び

が便利になる。

【0045】

【発明の効果】請求項1の発明によれば、少なくとも1個の発光素子で構成された表示セグメントを組合わせて一画面分の表示を行う表示部と、該表示部へ表示データを送信する送信部とを備え、上記表示セグメントを個別に受信・発光させるようにしたので、薄型、軽量化、大型化、高精細化が可能になるという効果がある。

【0046】請求項2の発明によれば、上記表示セグメントが、上記送信部より送信された表示データを受信し、該受信された表示データを表示素子の駆動データに変換する受信変換部と、該受信変換部で変換された駆動データを基に発光部を制御する駆動部とを有するので、薄型、軽量化、大型化、高精細化が可能で、しかも、カスタム対応の仕様についても、素早く対応できるという効果がある。

【0047】請求項3の発明によれば、上記送信部で周波数の異なる表示データを送信し、上記表示部に表示セグメント毎に異なる周波数帯しか受信できない手段を設けたので、各表示セグメント毎に異なる表示が可能になり、薄型、軽量化、大型化、高精細化が可能になるという効果がある。

【0048】請求項4の発明によれば、上記表示セグメント間に受信開始・終了の信号をやり取りできるデータ線を配線したので、各表示セグメントの駆動データを正確に伝送でき、薄型、軽量化、大型化、高精細化が可能になるという効果がある。

【0049】請求項5の発明によれば、上記送信部が、表示セグメント分の表示データを送信する前に、表示させたい表示セグメントを指定するための信号を送信するので、表示データを確実に伝送でき、薄型、軽量化、大型化、高精細化が可能になるという効果がある。

【0050】請求項6の発明によれば、上記送信部を少なくとも1個備えているので、特に複数個の送信部を使用すると、駆動データの送信時間が短くなり、動画などの表示も行えるようになるという効果がある。

【0051】請求項7の発明によれば、上記表示部の各表示セグメントに含まれる複数の受信手段を单一にまとめたので、表示部にかかるアンテナ及びレーザ受光素子等の価格を安くすることができ、装置の低廉化が図れるという効果がある。

【0052】請求項8の発明によれば、上記表示セグメント間の接続に変形可能な素材を使用するので、表示装置の搬送、搬出が容易となり、持ち運びが便利になるという効果がある。

【0053】請求項9の発明によれば、上記表示セグメントの接続用基板またはフィルムの片面にのみに、該表示セグメントを配置したので、表示セグメントの基板等が安く、薄くすることができ、表示部自体も薄くでき、また、基板のパターンが簡単になり、電源パターンを太

くすることができ、基板の電流容量を増やすことができるという効果がある。

【0054】請求項10の発明によれば、上記表示セグメントの発光部と同じ面上に上記受信変換部と上記駆動部を設けたので、製造しやすくなり、表示部も更に薄くできるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の実施の形態1を示す構成図である。

【図2】 この発明の実施の形態1における表示装置を示す外観図である。

【図3】 この発明の実施の形態1におけるセグメントを示す構成図である。

【図4】 この発明の実施の形態1におけるセグメントと共に電極用基板を示す構成図である。

【図5】 この発明の実施の形態1における表示装置を構成図である。

【図6】 この発明の実施の形態1におけるセグメント大型化を説明するための図である。

【図7】 この発明の実施の形態1における送信変換部の信号変換方法を説明するための図である。

【図8】 この発明の実施の形態1における受信変換部の信号変換方法を説明するための図である。

【図9】 この発明の実施の形態1における送信方法を説明するための図である。

【図10】 この発明の実施の形態1におけるデジタル送信による送信変換部の信号変換方法を説明するための図である。

【図11】 この発明の実施の形態2を示す構成図である。

【図12】 この発明の実施の形態3を示す構成図である。

【図13】 この発明の実施の形態4を示す構成図である。

【図14】 この発明の実施の形態5における表示データを示す図である。

【図15】 この発明の実施の形態5における送信方法を説明するための図である。

【図16】 この発明の実施の形態6を示す構成図である。

【図17】 この発明の実施の形態6を示す構成図である。

【図18】 この発明の実施の形態7を示す構成図である。

【図19】 この発明の実施の形態7を示す構成図である。

【図20】 この発明の実施の形態8を示す構成図である。

【図21】 この発明の実施の形態8を示す構成図である。

【図22】 この発明の実施の形態8を示す構成図である。

【図23】 この発明の実施の形態9における受信アンテナの一本化による表示装置を示す外観図である。

【図24】 この発明の実施の形態9における受信アンテナの一本化による共通電極用基板を示す構成図である。

【図25】 この発明の実施の形態12における共通電極用フィルムによる構成図である。

【図26】 この発明の実施の形態12における表示部の丸め込み動作説明図である。

【図27】 この発明の実施の形態1および11における可視光レーザ光による送信・受信の方法を説明するための図である。

【図28】 この発明の実施の形態10におけるセグメントの共通電極用基板片側への配置を示す図である。

【図29】 この発明の実施の形態11におけるセグメントの基板片側への部品実装を示す図である。

【図30】 従来の個別駆動型の表示装置を示す回路図

である。

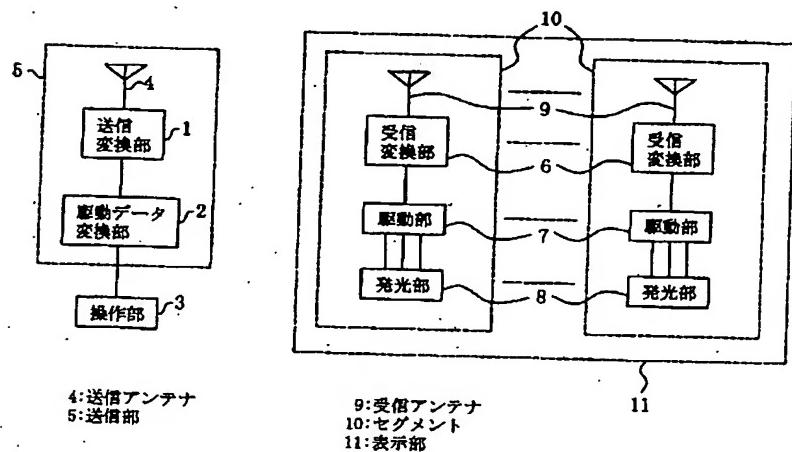
【図31】 従来のマトリクス駆動型の表示装置を示す回路図である。

【図32】 従来の個別駆動型の表示装置を示す外観図である。

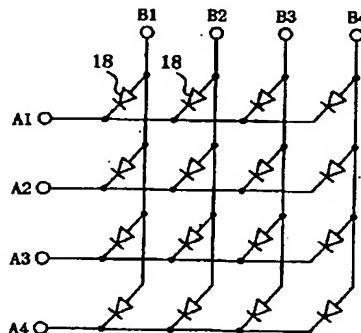
#### 【符号の説明】

- 1 送信変換部、2 駆動データ変換部、3 操作部、4 送信アンテナ、5 送信部、5 a 第一送信部、5 b 第二送信部、5 c 第三送信部、6 受信変換部、7 駆動部、8 発光部、9 受信アンテナ、10 セグメント、11 表示部、11 a 第一表示部、11 b 第二表示部、11 c 第三表示部、12 a レーザ発光装置、12 b 受光回路、13 表示基板、14 受信回路基板、15 共通電極用基板、16 共通電極、21 可変局部発信器、22 平衡変調器、23 固定局部発信器、24 検波器、25 SAWフィルタ、26 共通電極用フィルム。

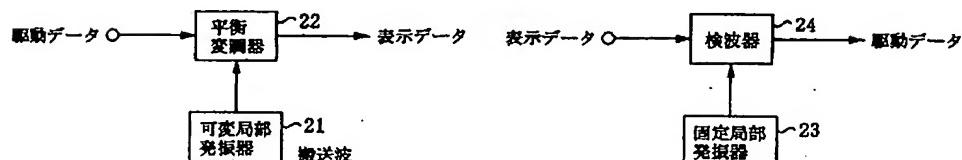
【図1】



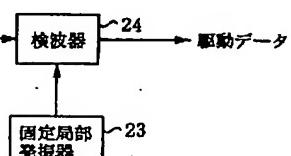
【図31】



【図7】



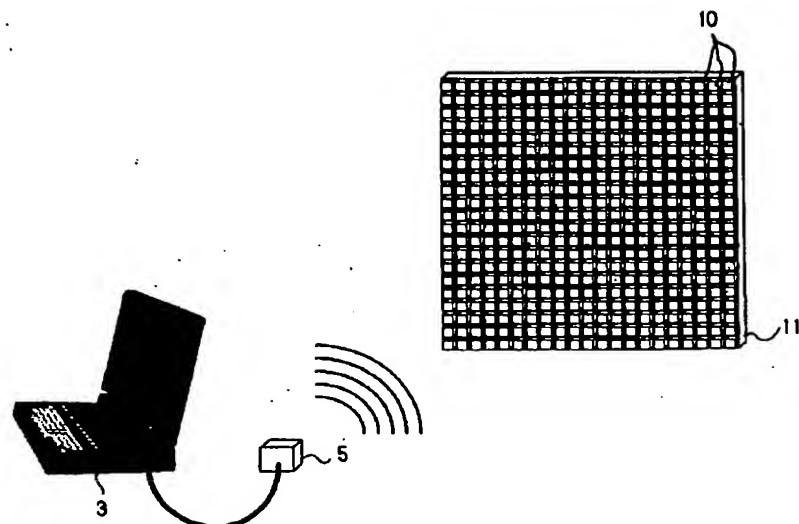
【図8】



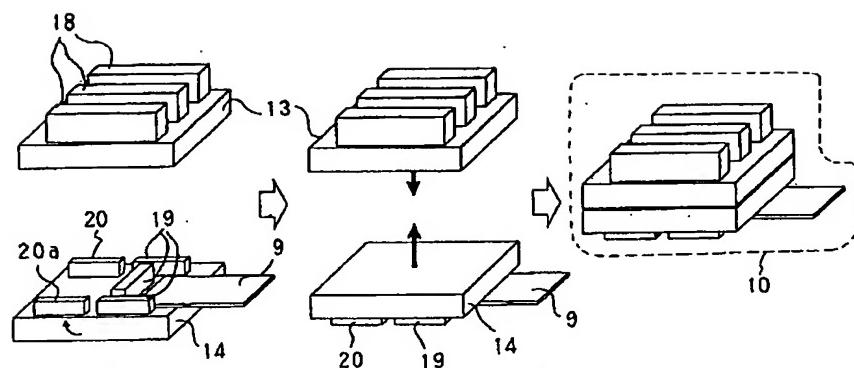
【図10】



【図2】



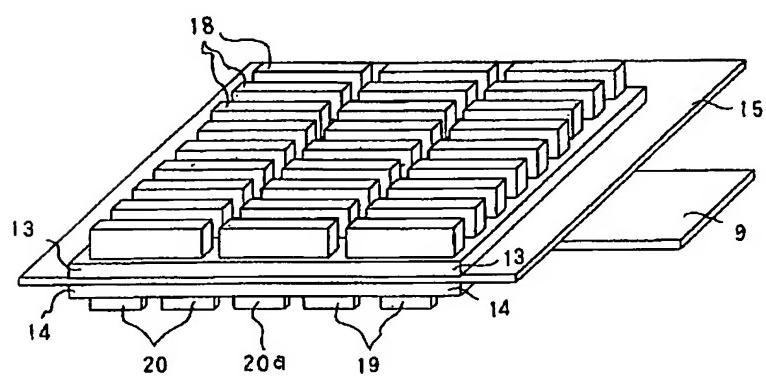
【図3】



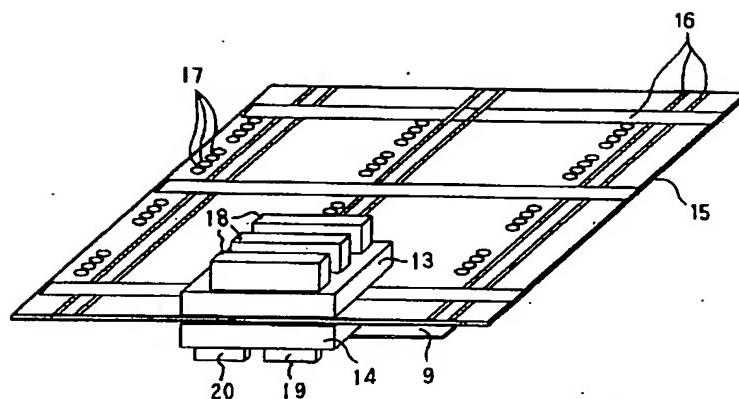
13：表示基板

14：受信回路基板

【図6】

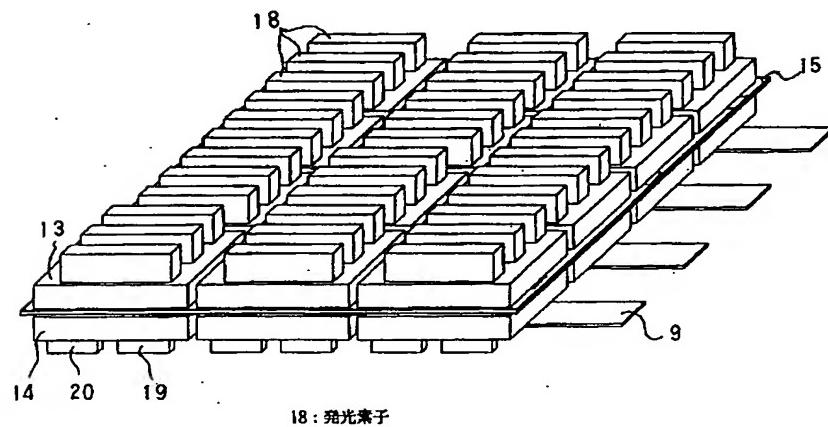


【図4】



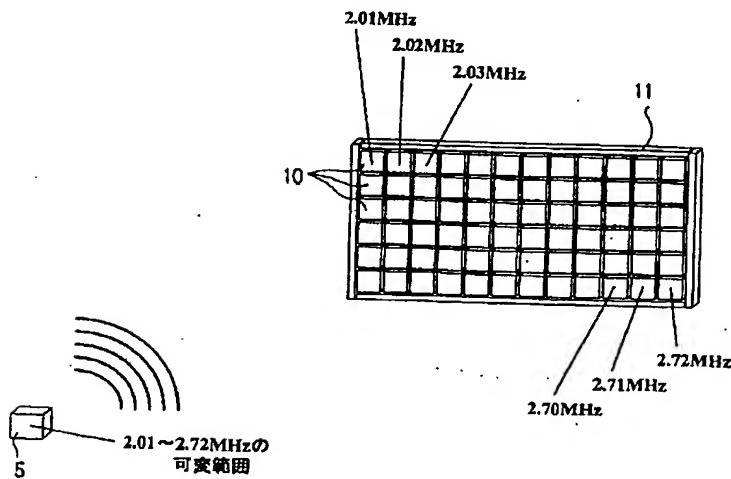
15: 共通電極用基板

【図5】

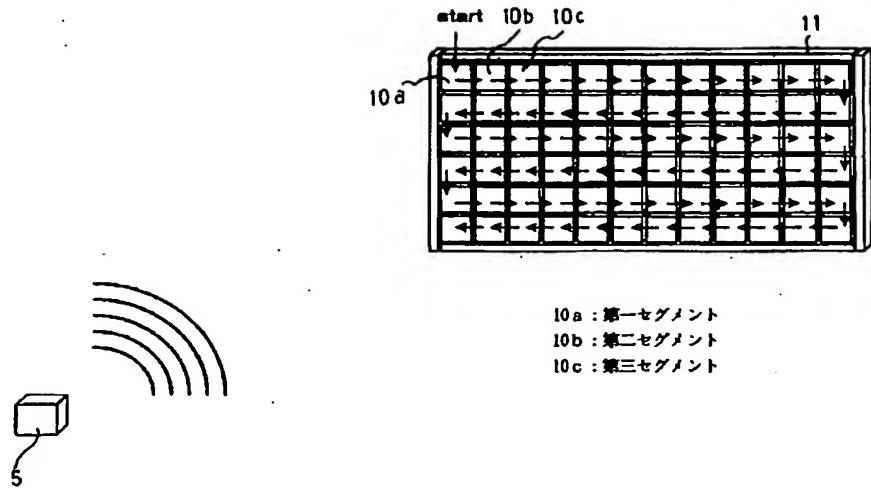


18: 発光素子

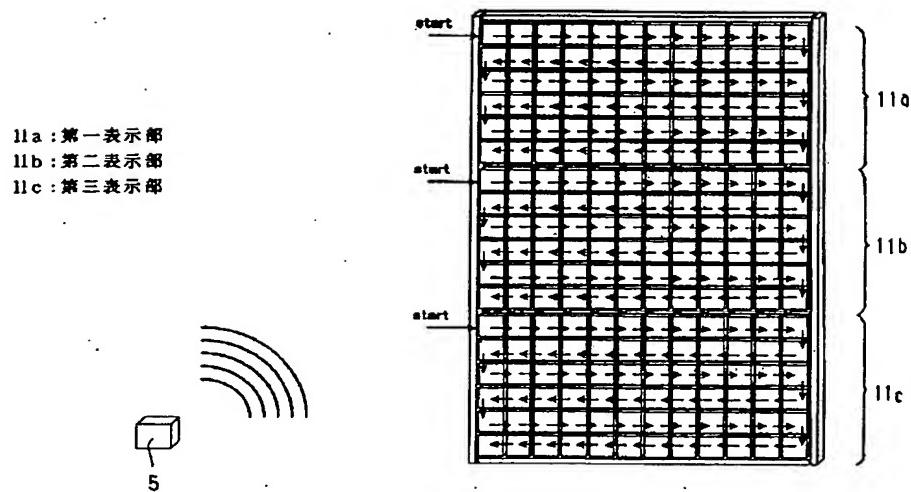
【図9】



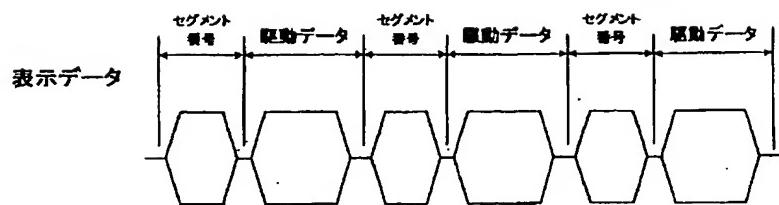
【図11】



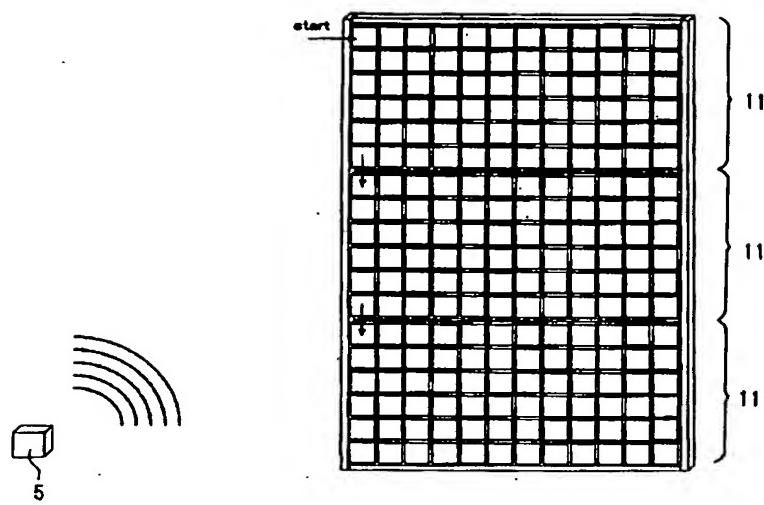
【図12】



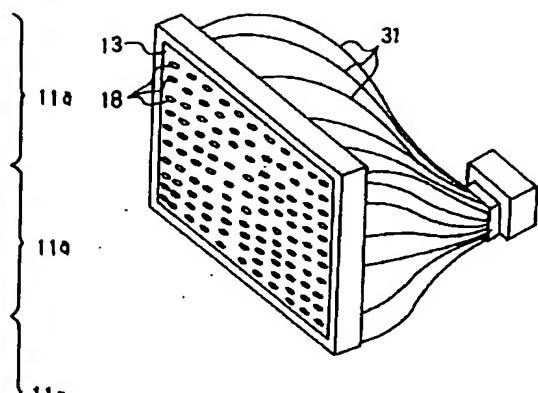
【図14】



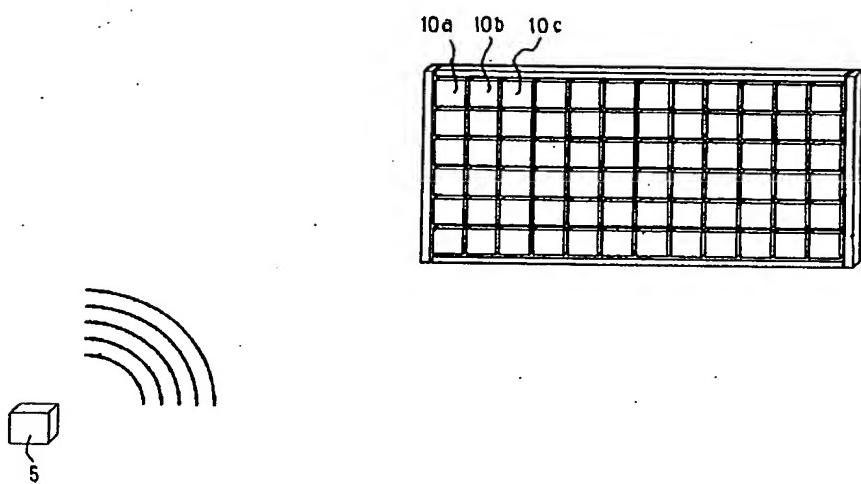
【図13】



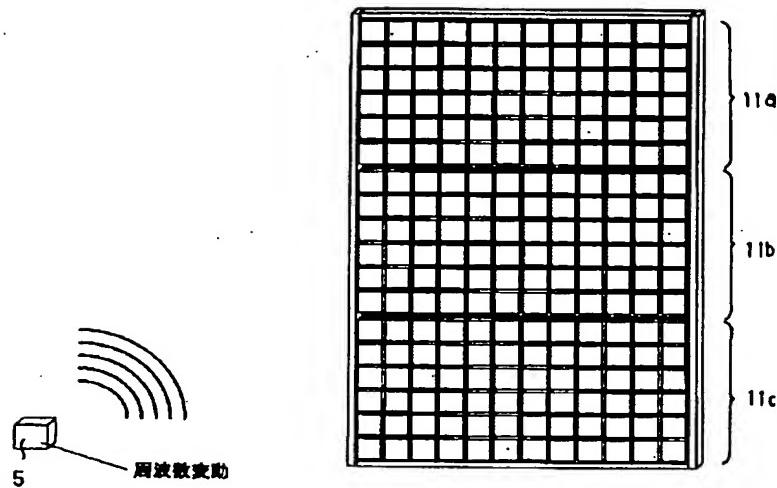
【図32】



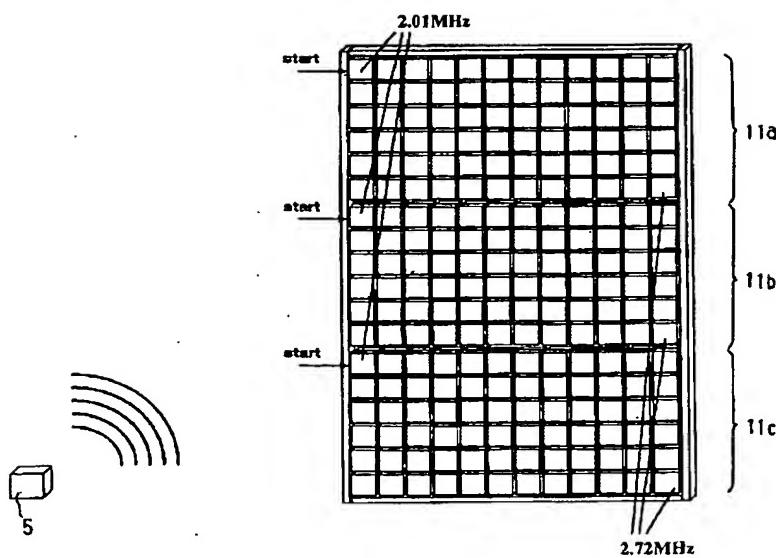
【図15】



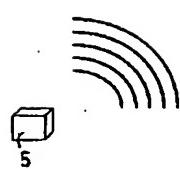
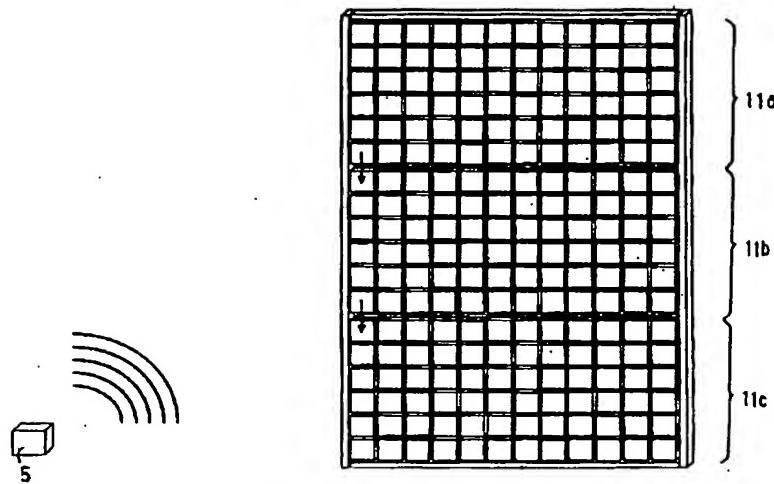
【図16】



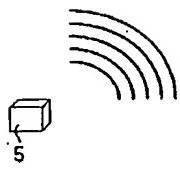
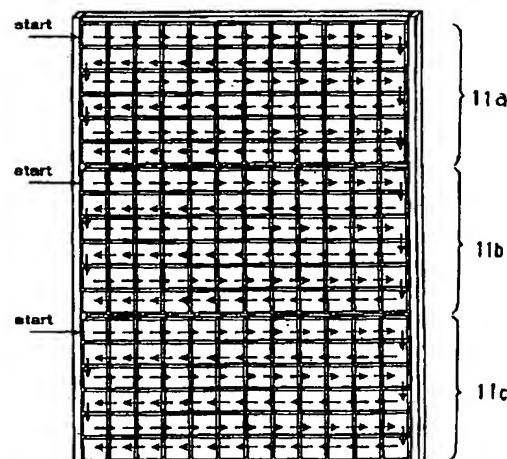
【図17】



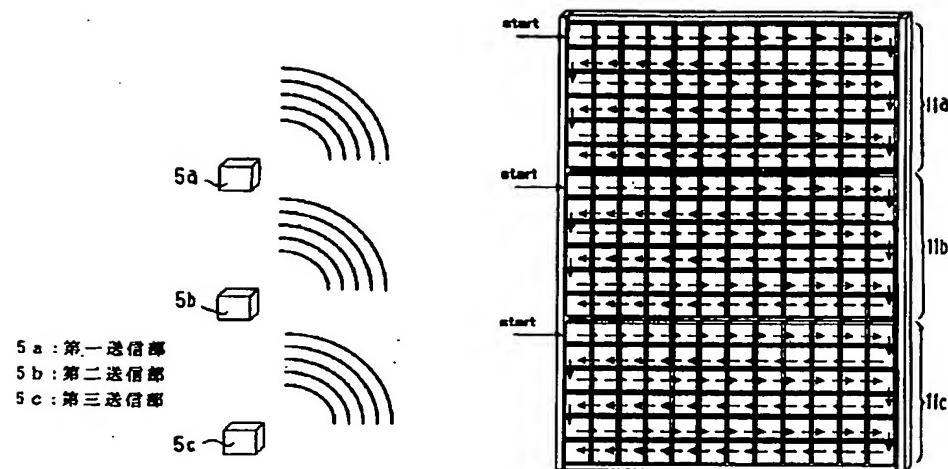
【図18】



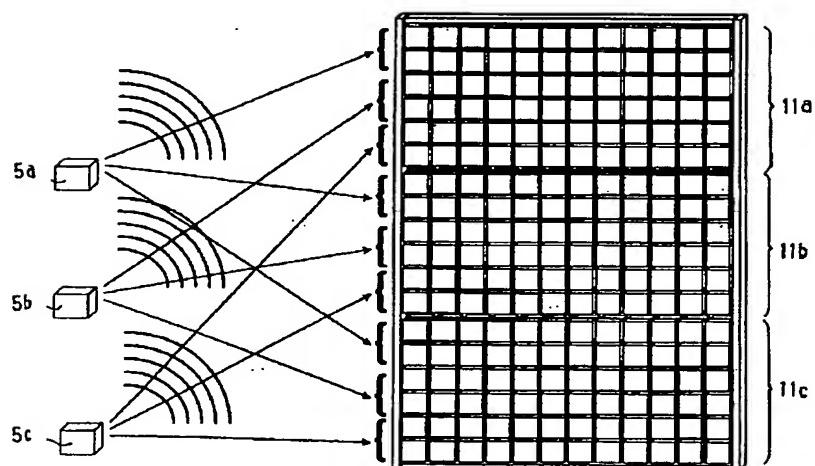
【図19】



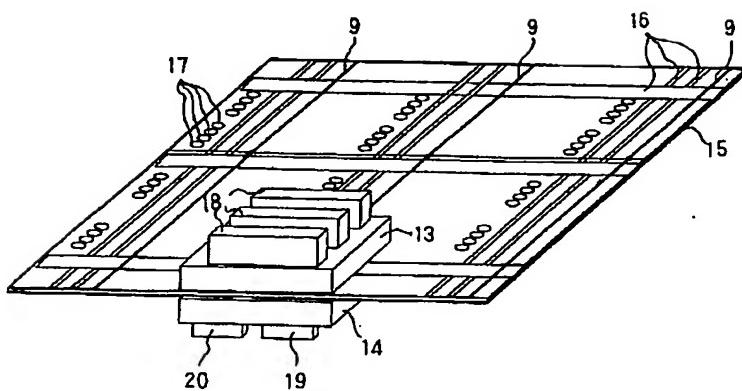
【図20】



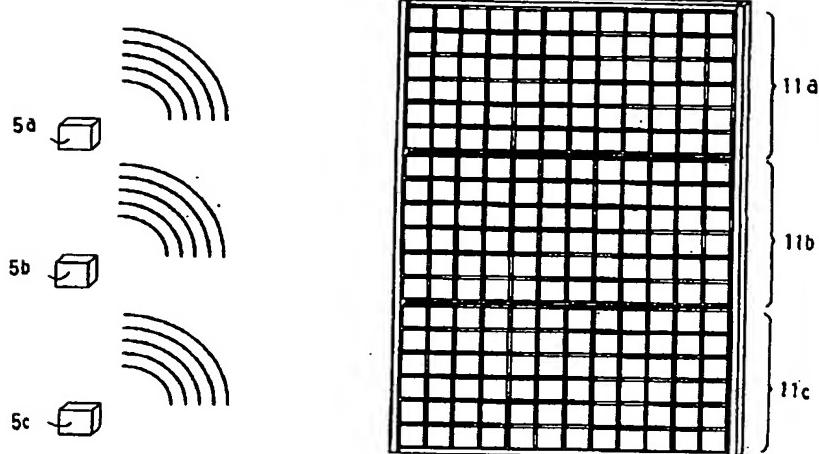
【図21】



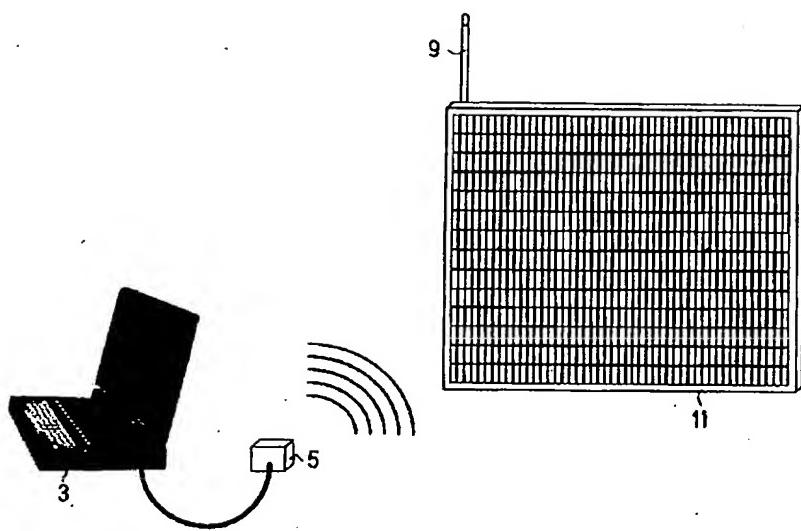
【図24】



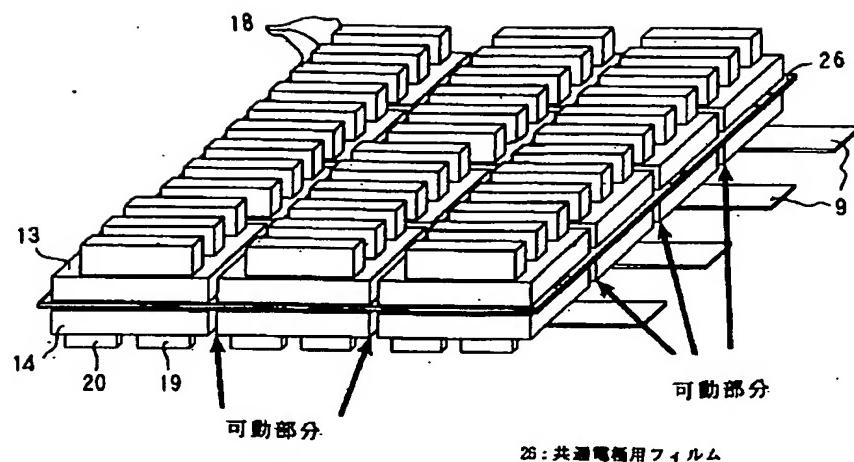
【図22】



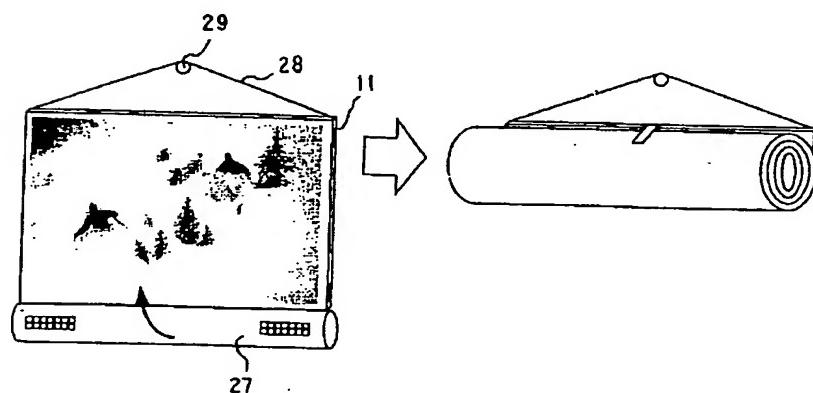
【図23】



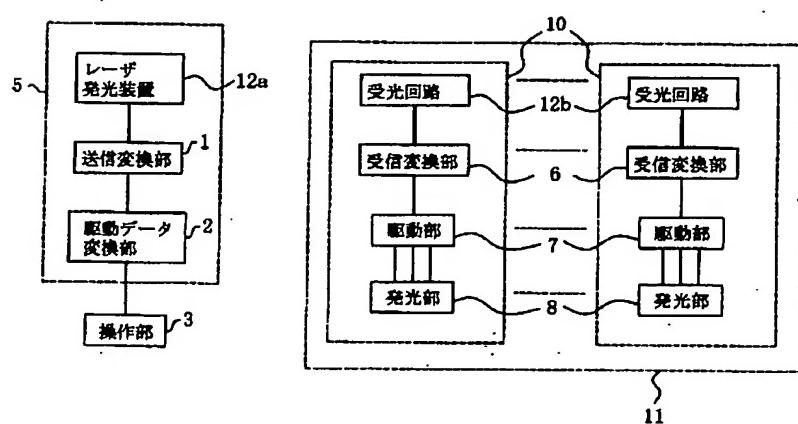
【図25】



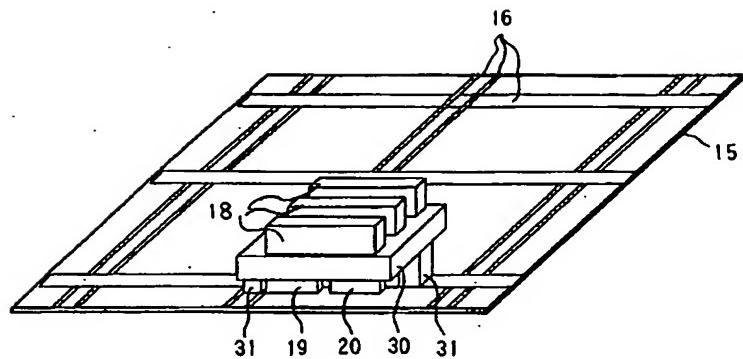
【図26】



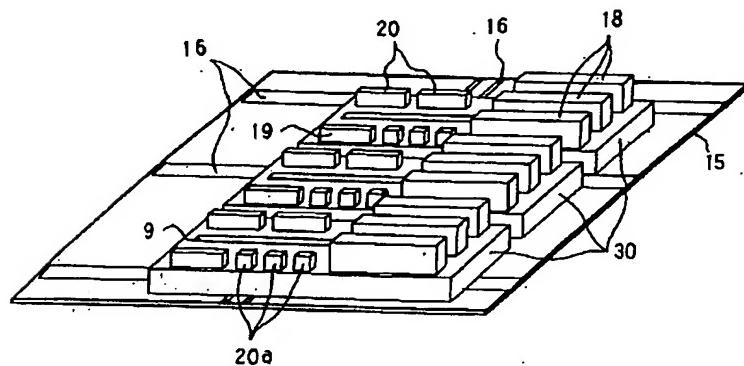
【図27】



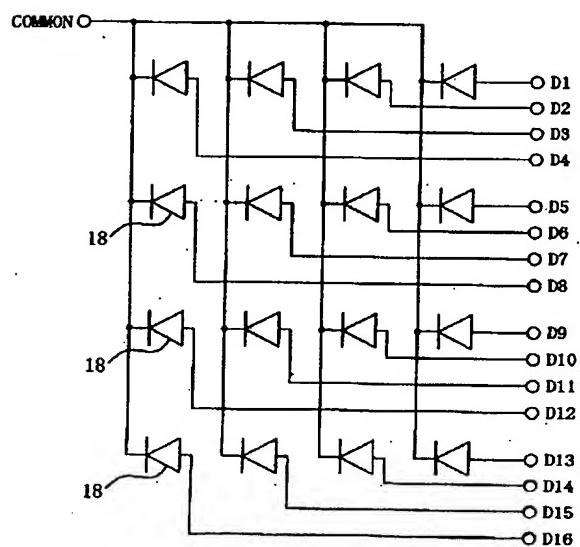
【図28】



【図29】



【図30】



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**